

# Kidsサポートフェア 開催に当たって

淑徳大学総合福祉学部  
准教授 松浦 俊弥

20世紀、「障害がある子どもが放課後や休日に地域で過ごせる場所」がこの国にはまだ多くはありませんでした。養護学校（当時）の教員をしていた私はその必要性を感じ「障害児放課後クラブあかとんぼ」を1998年に設立しました。これが千葉県の放課後等デイサービス事業（以下「放課後デイ」と略す）の先駆けです。

あれから18年、放課後デイは児童福祉法に位置付けられ、本県でも300を超える団体が活動しています。しかし、生産労働人口の減少は深刻な介護職不足を生み、多くの福祉施設がスタッフの確保に追われる今、放課後デイも例外ではありません。

しかし、私が講義で放課後デイの魅力を語ると、多くの学生が「アルバイトしたい」と申し出ます。実は平日の夕方の数時間や大学の休業期間に「障害がある子ども」と関わることができる放課後デイはとてもタイムリーなのです。さらに福祉に関心が高い有為な若者にとっては、放課後デイで正規のスタッフになり、その経験を通じて次の福祉事業に広げていくスタートアップの場にもなります。

「知らない」ことは損です。街中のアルバイトよりは比較的時給も高く、労働時間も短く、障害児の療育を学ぶことができる。福祉ベンチャーの担い手としてこの国の未来を変えたい、と願う若者が事業所経営を学ぶ場にもなる。あらゆる可能性を秘めた放課後デイを「知らない」まま青春時代を過ごすことは大損です。

若き日に私を育ててくれた淑徳大学で昨年からは教鞭をとることになりました。そして今年、放課後デイの危機に際し、「説明会を開催させてほしい」と願い出た千葉放課後連に、大学は快く会場を提供してくれました。学長を始め関係者の皆様、特にキャリアセンター、学生厚生委員の皆様には感謝しかありません。

ぜひ放課後デイに一度でもよいので足を踏み入れてみてください。そこは子どもたちと優しいスタッフの笑顔があります。皆さんもその笑顔の輪の一員になりませんか？  
待っています！

Kidsサポートフェア 実行委員会  
実行委員長 社会福祉法人ロザリオの聖母会 聖ヨセフつどいの家 杉田 明  
委員 株式会社ベストサポート バンブーnext 竹嶋 信洋  
委員 特定非営利活動法人やちまた放課後クラブ ぶらんこ 鈴木 翔太  
委員 特定非営利活動法人にじと風福祉会 にじと風 吉野 眞里子

# ようこそ！Kidsサポートフェアへ

千葉県障害児の放課後・休日活動を保障する連絡協議会(略称・千葉放課後連)  
会長 園山 満也

このフェアは淑徳大学のご協力のもとに千葉放課後連が主催して行っているものです。

ところで、皆さん、千葉県はもとより全国で「放課後等デイサービス」という事業が大きな広がりを見せていることをご存じでしょうか？

また障がいを持つ子ども達の日常生活がどのように営まれているかご存知でしょうか？

この「放課後等デイサービス」の事業の多くの関係者の要望を受けて2012年に国の制度として発足しました。国は子ども達の「放課後」や「長期休暇」の生活への配慮がほとんど「エアポケット」のように抜け落ちていたことに気付いたのです。

学校と家庭とを往復する生活に第3の場を設定することによって、生活に変化を持たせ、長期休業等ではいろいろな体験や交流などを通して成長・発達の機会に出会うことができるようになりました。

この「Kidsフェア」は第1に障がいを持つ学齢時の子ども達の、放課後並びに長期休暇を豊かに過ごせるように制度化された「放課後等デイサービス」の事業を多くの若い皆さんに正しく知っていただきたいと企画されたものです。同時にそのことを通して将来の進路選択助けになればと期待しています。

第2にこの機会を通して、「放課後等デイサービス」と直接かかわりたいと思われる方やアルバイトやボランティアをやってみたいと思われる方たちとの出会いの場として企画されたものです。

上記のような企画の意図ではありますが、あまり堅苦しく考えないで「のぞいてみるか」といった軽い雰囲気でご来場していただければうれしいです。

各ブースを訪問された方に素敵な「特典」を用意している事業所もありますのでゲットしてください。

では、あなたのご来場をお待ちしております。